

地場産業の振興について

産業労働部
地域産業立地課

議事次第

日 時：令和8年10月27日(火) 15:30～17:00
場 所：兵庫県庁 3号館10階庁議室

1 開 会

2 座長選出

3 議 事「地場産業の振興について」

〔資料〕	(1) 地場産業について	3
	① 本県の地場産業	
	② 各産地の現状	
	(2) 既存の支援施策について	8
	① 地域産業立地課での支援	
	② 県民局・県民センターでの支援例	
	③ 県内市町での支援例	
	(3) 産地への事前アンケート実施結果	14
	(4) 産地ヒアリング実施結果	17
	(5) 産地の取組事例	18
	(6) 民間企業における活用事例	20
	(7) 議論の方向性	21
	① 今後の県施策の方向性(案)	
	② 条例内容の方向性について	

4 閉 会

1 地場産業について

(1) 本県の地場産業

- ・県内には、現状37の地場産業が集積（下表参照）
- ・清酒、ケミカルシューズ、皮革、手延素麺、真珠加工、播州織、線香、釣針、マッチ、かばん等が、全国1位のシェアを誇るなど全国的にも著名な産地

	地場産業	企業数	主な産地(所在市町)
食料品	手延素麺（播州）	389	たつの市、姫路市、宍粟市、揖保郡、佐用郡
	手延素麺（淡路）	12	南あわじ市
	乾麺	9	たつの市、姫路市
	清酒	68	西宮市、神戸市、明石市、三木市、加古川市ほか
	醤油	8	たつの市
	姫路の菓子	34	姫路市
	水産練製品	-	神戸市、明石市、加古川市、姫路市
繊維	播州織	100	西脇市、多可町、加西市、加東市、丹波市
	糸・染色	6	西脇市、多可町
	撚糸	9	西脇市、多可町、加西市、豊岡市
	靴下	43	加古川市、姫路市、高砂市、加西市ほか
	作業手袋	4	姫路市・加西市
	神戸アパレル	146	神戸市
機械・金属	鎖	17	姫路市
	ボルト・ナット	11	神戸市、姫路市
	利器工器具（三木金物）	129	三木市、小野市、神戸市ほか
	家庭刃物	50	小野市、加古川市
	ゴルフ用具	6	姫路市、市川町、福崎町、神河町
	釣針	61	西脇市、丹波市、加東市、小野市、三木市

	地場産業	企業数	主な産地(所在市町)
化学・雑貨	皮革（一次製品）	242	姫路市、たつの市、太子町ほか
	にかわ・ゼラチン	16	姫路市
	ゴム製品	38	神戸市
	ケミカルシューズ	59	神戸市、三木市
	マッチ	14	姫路市、加古川市、太子町、神戸市
	線香	15	淡路市、洲本市、神河町
	神戸家具	16	神戸市
	そろばん	10	小野市
	木工芸品	4	小野市、加西市
	杞柳製品	-	豊岡市
	かばん	73	豊岡市
	故繊維加工	11	姫路市、高砂市、西脇市、加古川市、西宮市
	真珠核	8	洲本市
	真珠加工	72	神戸市
窯業・土石	出石焼	4	豊岡市
	丹波立杭焼	57	丹波篠山市、三田市
	粘土瓦	59	南あわじ市
	宝殿石（竜山石）	17	高砂市

〔指定要件〕 ・地元資本をベースとする中小企業が一定の地域に集積していること
 ・産地企業により構成される協同組合等の協同組織が存在すること 等

1 地場産業について

(2) 各産地の現状

- ・消費者ニーズの多様化や安価な輸入品の増加等により、生産額が逡減傾向
- ・労働力の減少に伴い人材確保が困難
- ・産地のブランド化や販路拡大策、技術継承等の課題について、組合や事業者のみでの対応は困難

① 主要な地場産地（14産地）の近況

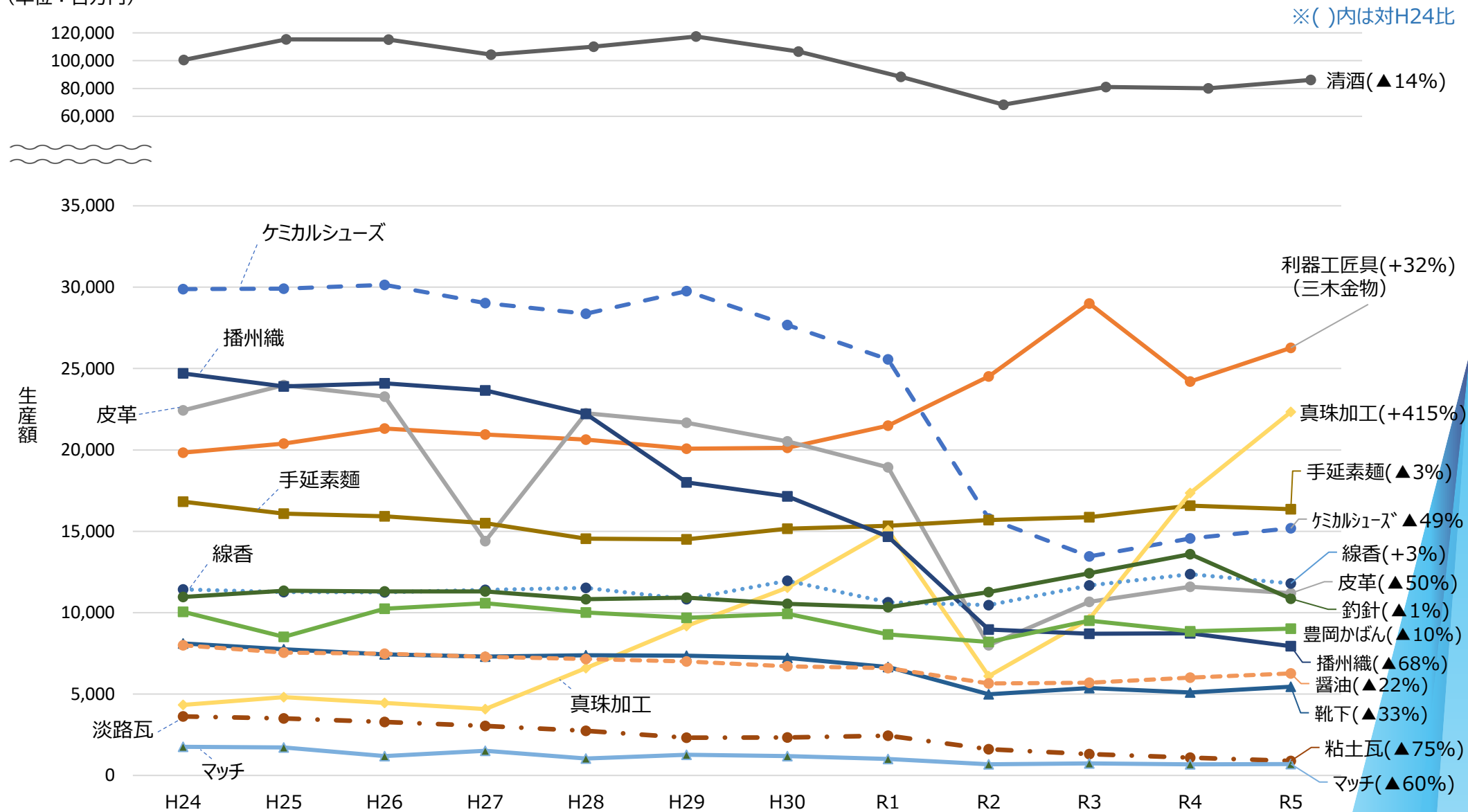
地場産業	主な産地	生産金額(百万円)			企業数			全国 順位
		R4(A)	R5(B)	増減(B-A)	R4(C)	R5(D)	増減(D-C)	
清酒	県内全域	80,173	86,139	5,966	70	68	▲2	1位
ケミカルシューズ	神戸市	14,560	15,183	623	60	59	▲1	1位
皮革	姫路市、たつの市	11,590	11,194	▲396	244	242	▲2	1位
利器工匠具	三木市周辺	24,206	26,275	2,069	132	129	▲3	4位
手延素麺(播州)	たつの市周辺	16,580	16,363	▲217	391	389	▲2	1位
真珠加工	神戸市	17,347	22,334	4,987	74	72	▲2	1位
播州織	西脇市周辺	8,733	7,939	▲794	104	100	▲4	1位
線香	淡路市	12,364	11,802	▲562	15	15	0	1位
釣針	加東市、西脇市周辺	13,597	10,860	▲2,737	63	61	▲2	1位
かばん	豊岡市	8,922	9,087	165	75	73	▲2	1位
靴下	加古川市周辺	5,094	5,449	355	48	43	▲5	2位
粘土瓦	南あわじ市	1,091	892	▲199	63	59	▲4	3位
マッチ	姫路市周辺、神戸市	681	703	22	14	14	0	1位
醤油	たつの市	6,010	6,263	253	8	8	0	2位

※出典：経産省「2024年経済構造実態調査」、各産地組合調査(R5時点)

1 地場産業について

① 主要な地場産地の生産額推移

(単位：百万円)

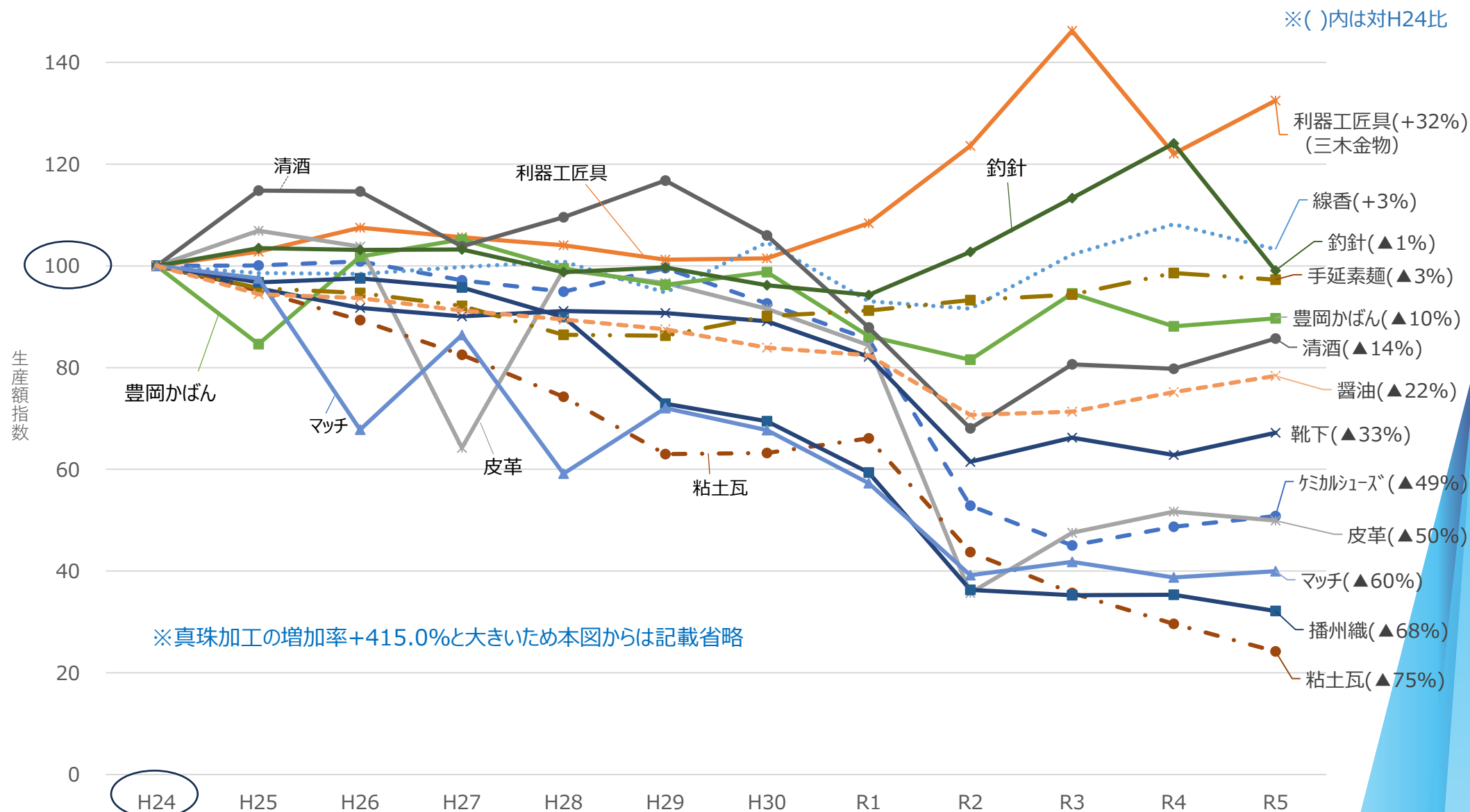


※出典：経産省「2024年経済構造実態調査」、各産地組合調査(R5時点)

1 地場産業について

② 主要な地場産地の生産額指数推移 (H24を100とした際の相対値)

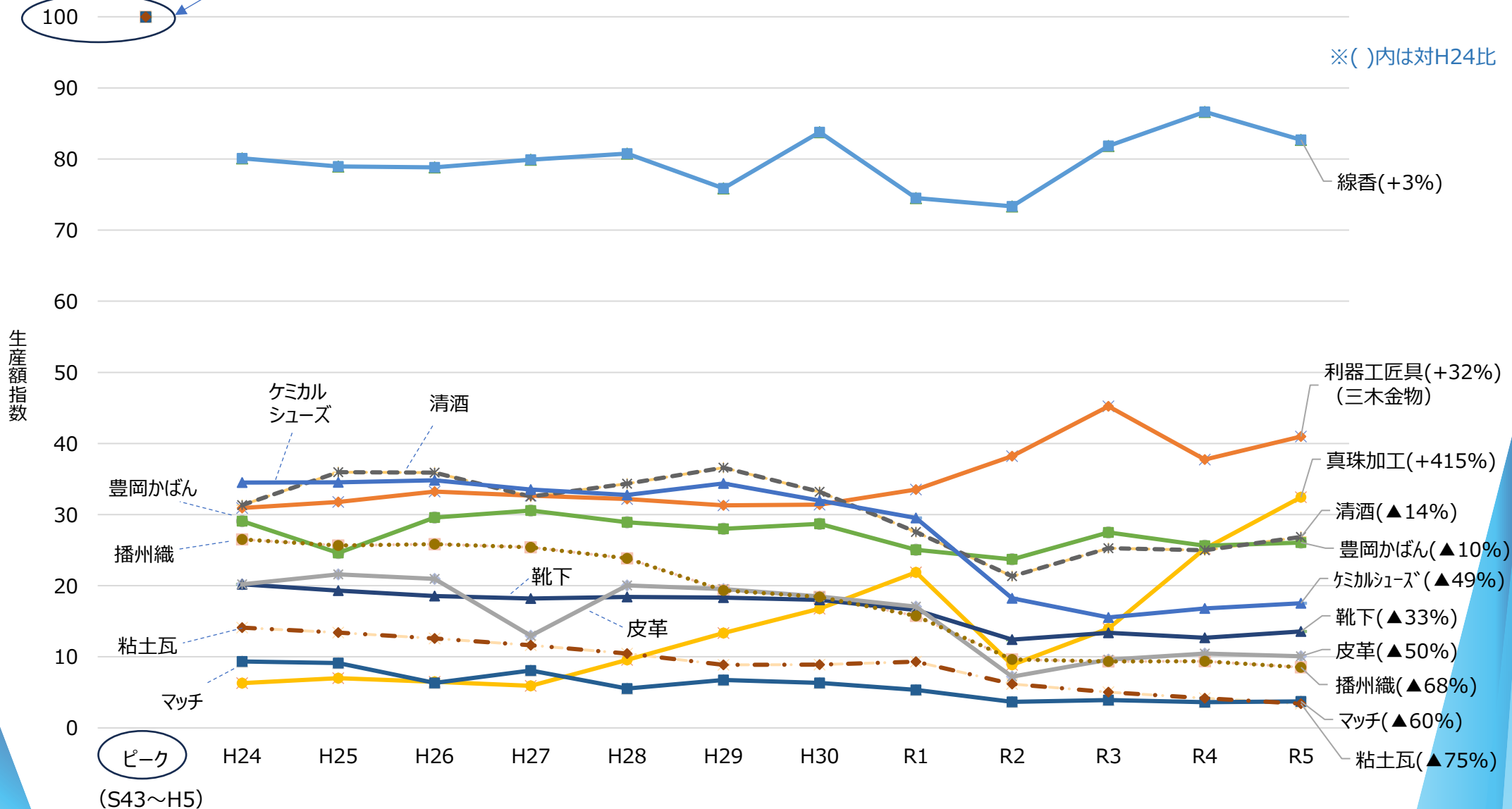
○コロナ過の影響による変動はあるものの多くの産地が
右肩下がり傾向にある



1 地場産業について

③ 主要な地場産地の生産額指数推移 (ピーク時を100とした際の相対値)

○多くの産地がピーク時の半分以下に縮小
(ピーク時期は産地によって異なる)



2 既存の支援施策について（本庁）

（1）地域産業立地課での支援（産地のブランド化推進）

① NEXTじばさん推進プロジェクト事業（78,022千円）

- ・ 地域の経済・雇用の中核を担ってきた地場産業の持続的な発展を図るため、産地のブランド力向上の取組に加え、産地の現状を踏まえた戦略的な計画策定と事業展開を支援

ア 産地のブランド力向上の取組支援

- ・ 地場産業のブランド力の強化を図るため、国内外販路開拓や若手人材の育成等の取組を支援

【対象者】産地組合等

【補助件数】13件

イ 戦略的な中期ビジョンの策定支援

- ・ 経営戦略策定の専門家等のコーディネートによる産地の現状分析、ビジョン策定、重点取組の決定を支援
- ・ 産地が策定したビジョンで決定した重点取組に基づく事業展開を支援

【戦略策定予定】4産地

【取組支援補助】6産地



【播州織PRイベント（播州織コレクション）】



【中期ビジョン策定支援の様子】

② 伝統的工芸品の振興（1,030千円）

- ・ 長い歴史と地域の風土に培われ、優れた伝統的技術を有する伝統的工芸品の振興を推進
- ・ 令和7年8月に三田青磁を県伝統的工芸品に指定（平成27年度の皆田和紙以来の指定）

【県内工芸品指定数】国指定：7品目、県指定：27品目



【三田青磁】

2 既存の支援施策について（本庁）

(2) 地域産業立地課での支援（皮革産業における販路開拓の推進等）

① ひょうご天然皮革の需要開拓（18,933千円）

- 兵庫県皮革産業協同組合連合会と連携し、天然皮革のブランド化による国内外での需要開拓を促進



【ひょうごニューレザーコンテスト】



【コラボレート製品(皮革×豊岡鞆、播州織)】



【東京インターナショナル・ギフトショーinソウル】

② 技術力の向上

- 皮革工業技術支援センターにおいて、技術相談・指導や研究開発、技術者養成を実施し、皮革業界の技術力向上を支援

区 分	依頼試験	機器利用	技術相談・指導	巡回技術指導
R7	268件	276件	1,353件	56件
R8 (8月末時点)	81件	201件	496件	18件



【皮革技術者養成】

③ 皮革排水処理対策の推進（121,200千円）

- 揖保川流域及び市川流域下水道で皮革排水を処理している関係市町（姫路市、たつの市、太子町）に対し、皮革排水処理にかかる財政負担を軽減する助成を実施

2 既存の支援施策について（本庁）

（1）地域産業立地課での支援（産地の持続的发展への支援）

① じばさん海外向けプロモーション（10,000千円）

- ・ 産地間連携による地場産業のPR・販売イベントの実施や海外バイヤーとのビジネスマッチングにより、県内地場産品の更なる海外需要を促進

ア 産地間連携による海外展開支援

- ・ 外国人が集まる駅・観光地などでのPR・販売イベントの実施
- ・ 産地間でのコラボレーション商品の開発支援

イ 海外バイヤーによる産地視察・商談会の実施

- ・ 海外バイヤーが直接産地を視察（工場見学等）し、併せて商談会を実施することで新たなビジネスマッチングを創出
- ・ 海外で開催されるポップアップイベント等への出展



【コラボ商品例（豊岡鞆×播州織）】



【海外バイヤー視察のイメージ】

② 地域での需要開拓・販路開拓（3,400千円）

- ・ 地域に大きな役割を果たす地場産業を総合的に支援するため、地場産業振興団体が取り組む需要開拓・販路拡大の事業を支援

団体名	事業内容
(公財)神戸ファッション協会	商品開発から実売までを伴走型支援する「Nextひょうご」の運営、夏休み「じばさんフェア」の開催
(一財)但馬地域地場産業振興センター	豊岡かばん、杞柳製品、出石焼などのPR



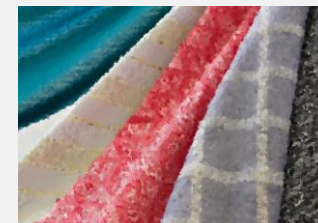
【国内バイヤーとの商談風景】

2 既存の支援施策について（本庁）

(3) 地域産業立地課での支援（補正予算対応）

① じばさん経営構造改革支援事業（148,000千円）[令和8年度6月補正]

- ・ 地場産業の持続的な振興を図るため、原材料調達先の多角化、新たな主力事業の立ち上げ、低コスト化・高効率化など収益力向上や構造改革につながる取組を支援



【播州織】

② 地場産業等LPガス価格高騰対策（13,000千円/27,000千円）

[令和7年度12月補正/令和8年度6月補正]

- ・ LPガスの使用料について、本県地場産業の中でも、製造コストに占める割合が特に高い業種の事業者に対して、LPガス価格高騰に対する支援を実施



【淡路瓦】

③ 酒米価格高騰対策支援事業（789,000千円）[令和7年度2月補正]

- ・ 生産量全国1位を誇る本県産の日本酒において、原材料となる酒米の急激な高騰による影響を緩和するため、県内の酒造会社における酒米購入費の一部を支援



【山田錦の生産ほ場】

2 既存の支援施策について（県民局・県民センター）

（4）県民局・県民センターでの支援例

① ひょうごフィールドパビリオンの推進（県内各地）

- ・ 大阪・関西万博を機に、地域の「活動の現場そのもの（フィールド）」を、地域の方々が主体となって発信し、多くの人に来て、見て、学び、体験していただく取組を国内外に発信。



【ひょうごフィールドパビリオン】

② 地酒のプロモーション事業

ア はりま姫路の酒プロモーション事業（中播磨県民局）

- ・ GIはりまを中心とした「はりま姫路の酒」のプロモーションを海外で実施することにより、地域資源である日本酒の販路開拓を支援する。

イ 丹波の地酒魅力向上事業（丹波県民局）

- ・ 三宝ダム貯蔵酒PR・イベント、丹波立杭焼と地酒の合同販売イベント、県外展示会等への出展。



【リールでの試飲会】

③ 職業訓練支援事業（淡路県民局）

- ・ 少人数の生徒で職業訓練を実施している職業訓練法人を支援することで、職業訓練の継続、後継者の養成に繋げることで、地場産業の組織強化を図る。



【淡路瓦での職業訓練】

2 既存の支援施策について（県内市町）

（5）県内市町での支援例

【神戸市】「灘の酒」の振興事業

・灘五郷のPRや灘の酒に関するイベントへの出展、首都圏・海外でのプロモーション及び試飲イベントの開催など。

【姫路市】 地場産品・特産品の販路開拓等支援

・皮革製品や清酒など、姫路の地場産品の国内外への展示会への出展、播磨圏域商業施設でのPOP UPなど。

【南あわじ市】 地場産業ブランド形成支援事業

・〔淡路瓦〕生産能力向上、淡路瓦の知名度向上や販路拡大にかかる事業経費を支援。
・〔手延素麺〕各種イベントPR、地理的表GIを活用したブランドの強化と知名度向上にかかる経費を支援。

【西脇市】 中学校制服播州織シャツ支給事業

・播州織への理解とシビックプライドの醸成を図るため、市内4中学校の制服統一を契機に制服として着用できる市内で生産されたオリジナルの「播州織シャツ」を新中学1年生全員に支給。

【淡路市】 線香協同組合振興活動事業補助金 地域資源販路開拓支援事業補助金

・香りのまちとしての知名度向上を図り、線香産業の活性化を目指すとともに、線香ブランドを確立し、線香産業を活性化させるため国内外の販路拡大を支援。

【三木市】 三木金物後継者育成事業

・三木金物商工協同組合連合会が行う技術継承セミナーや後継者を育成しようとする伝統工芸士等および研修従事者を支援。

【たつの市】 たつの市皮革まつり運営事業

・皮革素材・製品の販売や地元高校生が制作するレザーファッションショーの開催について支援。

【豊岡市】 豊岡市地場産業総合振興事業

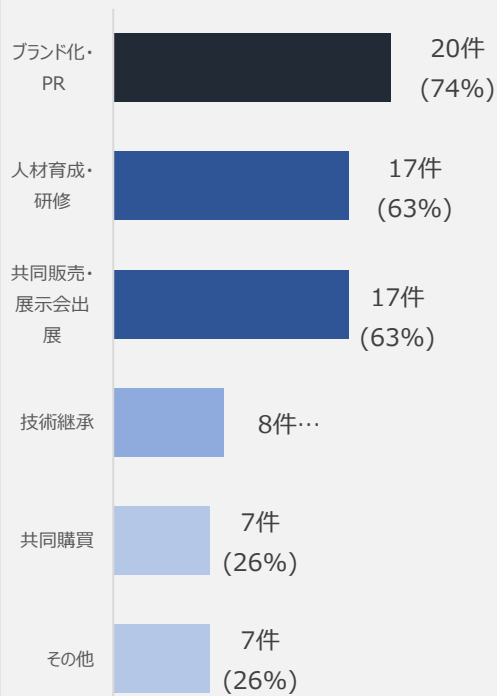
・豊岡かばん、出石焼等の地場産業について、フェスティバル開催事業、地場産品等PR事業に対して支援。

3 産地への事前アンケート実施結果（1/3）

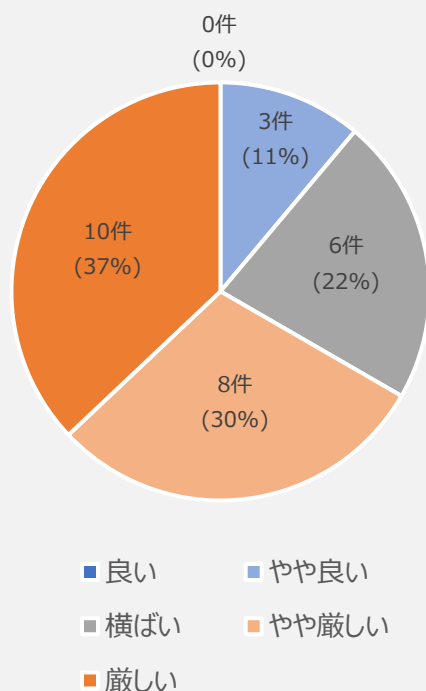
- ①組合の主な基本活動は、「ブランド化・PR」、「人材育成・研修」、「共同販売・展示会出展」
- ②景況感については、全産地の2/3が「厳しい」、「やや厳しい」
- ③産地の持続性について、「維持できる」と「難しい・厳しい」は半々
- ④中長期ビジョンは、約 6 割の産地が策定済・作成中

但し、中長期計画・ビジョンを策定済みの産地(10産地)のうち7割は、産地の持続性について維持が可能と回答

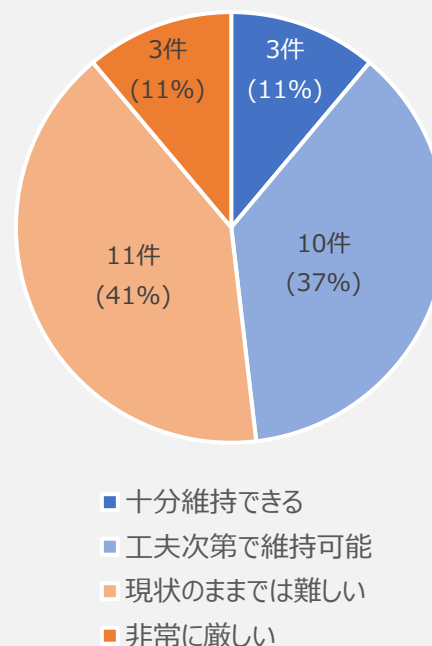
①組合の主な活動内容



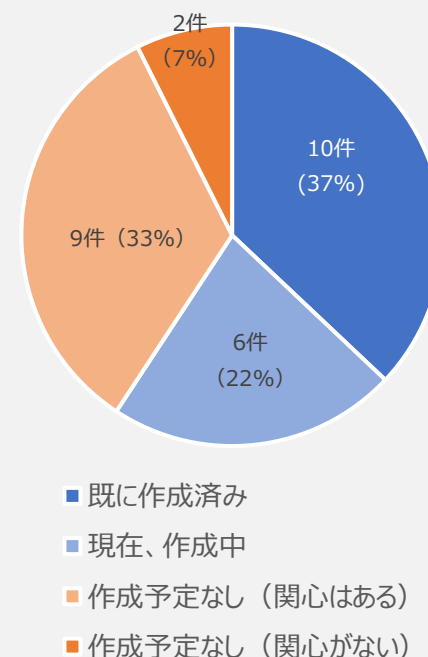
②現在の産地の景況感



③今後10年程度を見据えた産地の持続性



④中長期計画・ビジョンの作成状況



3 産地への事前アンケート実施結果（2/3）

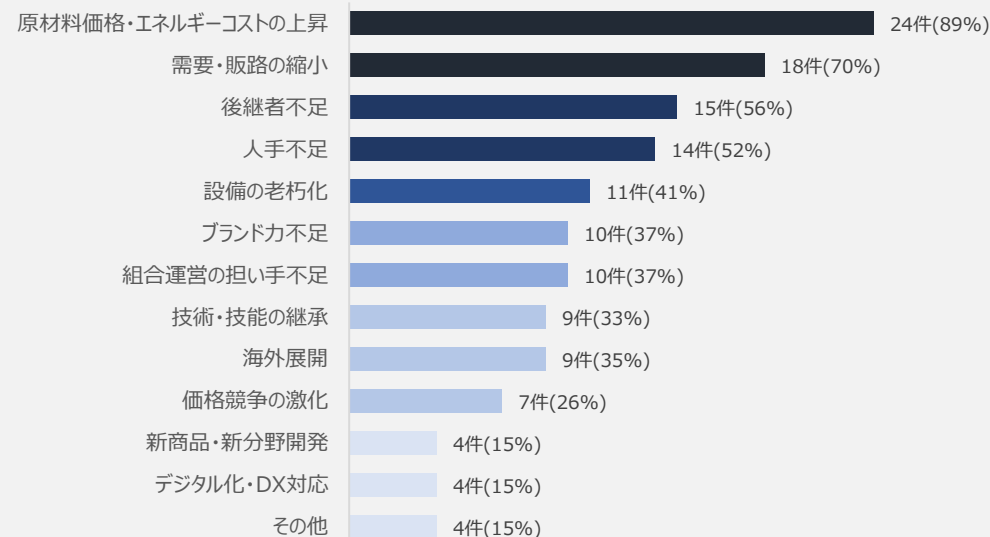
⑤課題の上位は、「コスト上昇」、「需要・販路の縮小」、「後継者・人手不足」

⑥現状の取組内容の上位は、「ブランディング・付加価値向上」、「販路開拓」

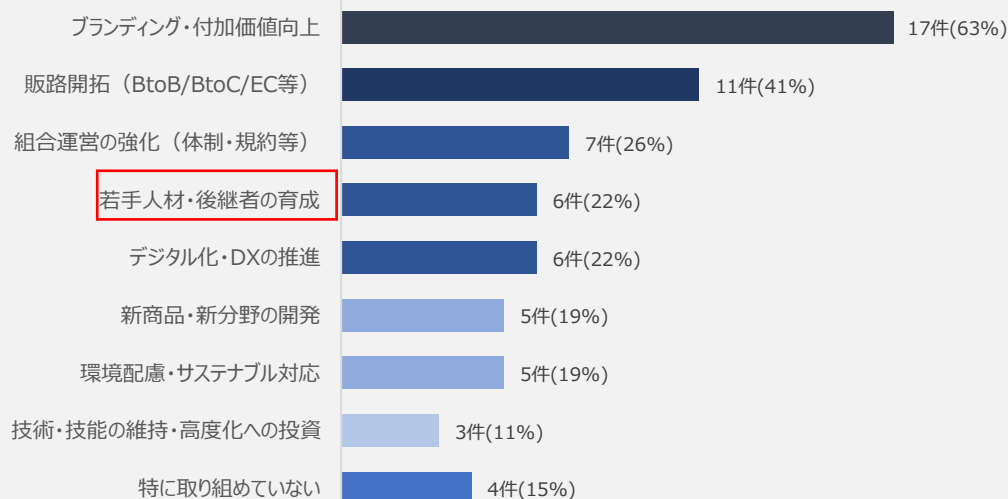
⑦現状の連携・協業の上位は、「自治体・商工団体」、「産地内事業者」、「他産地・異業種」

課題認識はあるが、人材確保・育成や他の産業、観光等との連携に取り組めていない

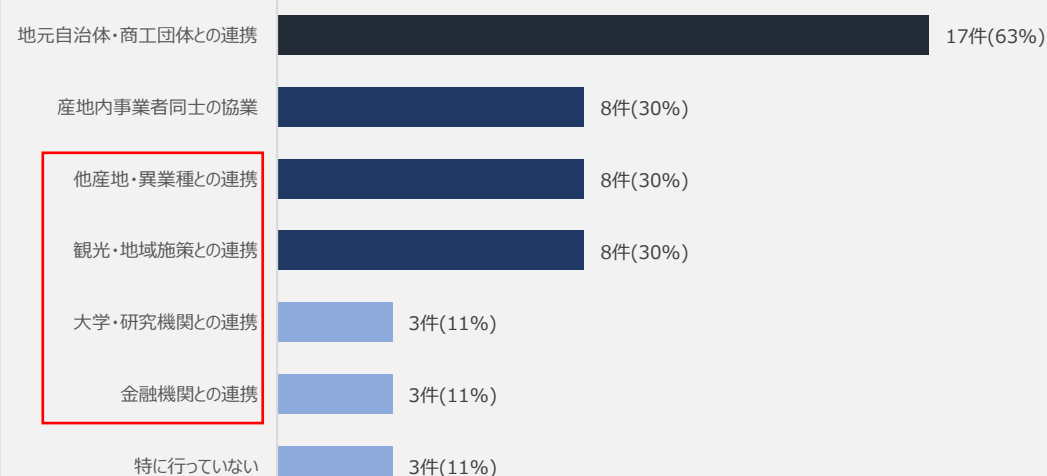
⑤産地・組合の課題



⑥現在の産地・組合の取組状況



⑦現在、産地内外で取り組んでいる連携・協業

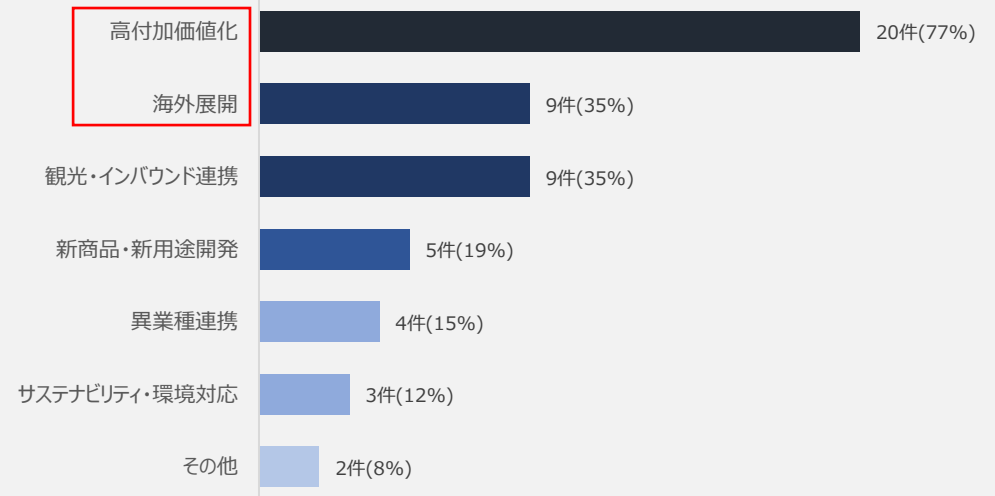


3 産地への事前アンケート実施結果 (3/3)

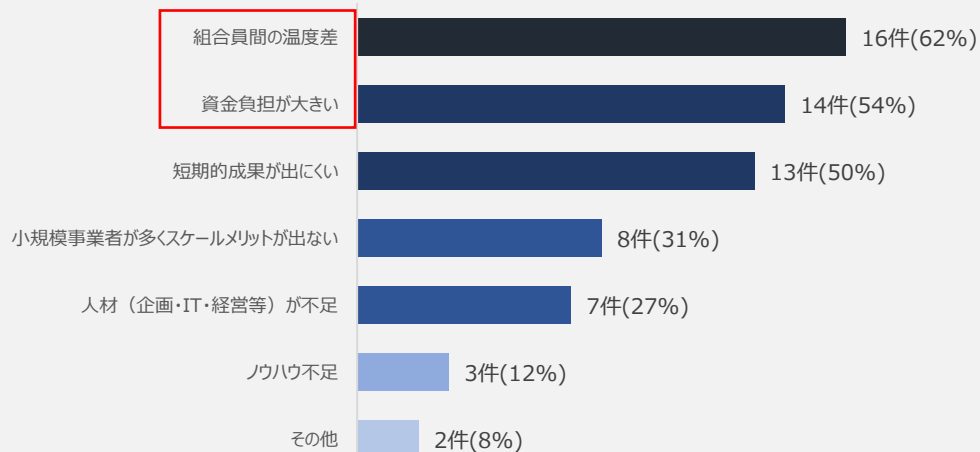
- ⑧今後取り組みたい分野は、「高付加価値化」、「海外展開」、「観光・インバウンド連携」
- ⑨組合努力のみでは困難なものは、「組合員間の温度差」、「資金負担」、「短期的成果の難しさ」
- ⑩行政へ期待する役割は、「ブランド力向上・情報発信」、「販路開拓・マッチング支援」、「人材育成」、「運営支援」

高付加価値化・海外展開の強化希望はあるが、組合間の足並み、資金の不足等の課題があり、行政支援が必要

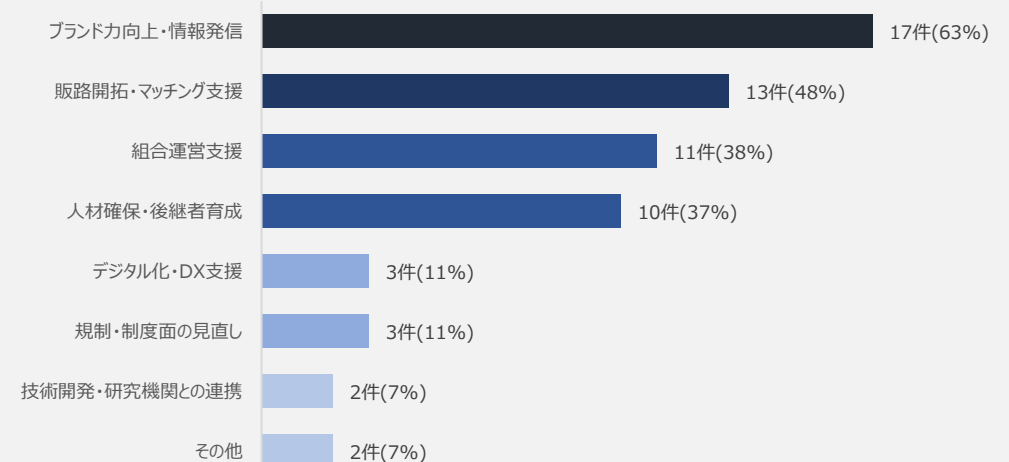
⑧今後、産地として強化したい分野



⑨主体的な努力だけでは対応が難しいと感じる点



⑩行政（県・市町）に期待する役割



4 産地ヒアリング実施結果

前向き	高い技術力・品質への評価 ・多品種・小ロット生産に対応し、多様な顧客ニーズに応えられる柔軟性がある。[共通] ・品質管理の仕組みや産地内の基準により、消費者からの信頼を獲得している。[雑貨] ・産地としての品質向上の取組が事業者の技術力向上にもつながっている。[雑貨] 海外市場における成長可能性 ・海外からの発注が増えるなど、引き合いが増加している。[食品] ・海外の有名ブランドとの取引による成功例あり、新たな成長分野として期待している。[雑貨] 人材確保 ・職人育成スクールの存在により、全国から職人を志す人が産地に集まっている。[雑貨]
課題	人材確保・事業承継 ・高齢化や後継者不足により、技術継承や職人育成が困難。[共通] ・生産を増やしたいものの、人手不足により生産能力の拡大が困難。[食品] 国内需要・県内需要の縮小 ・生活様式や消費者ニーズの変化により、市場規模が縮小。[雑貨、窯業] ・県内の小売店や飲食店で県内地場産品の取り扱いが少ない状況。[食品] 販路開拓・認知度向上 ・県内外で認知度に差があり、更なるブランド発信が必要。[雑貨] 海外展開への対応 ・輸出先国の規制や品質基準への対応負担が大きい。[雑貨] ・海外市場への参入に必要なノウハウや体制整備が求められている。[雑貨] サプライチェーンの維持 ・原材料供給事業者やメンテナンス事業者の減少などにより、生産基盤維持に懸念がある。[共通] ・関連事業者を含めた産地全体での持続可能な体制づくりが必要。[共通]

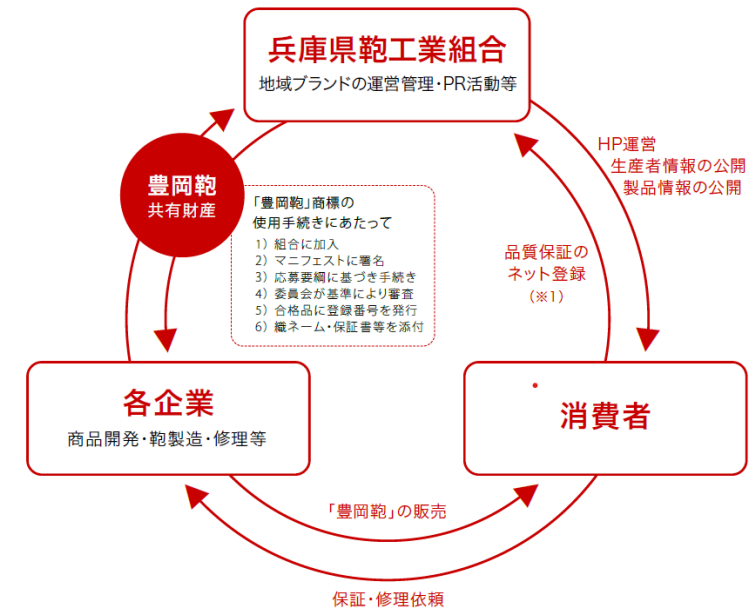
5 産地の取組事例

(1) ブランド力向上

〔豊岡かばん〕

兵庫県鞆工業組合が運営する「豊岡鞆ブランド認定制度」により、素材、耐久性、縫製、使いやすさなど厳しい基準を設け、基準を満たした製品のみを認定している。

認定後も保証制度や修理対応、ブランド管理、販路開拓・PR活動を継続的に実施することで、豊岡鞆ブランドの信頼性と付加価値の維持・向上を図っている。



【「豊岡鞆」地域ブランドの仕組】
(豊岡鞆地域ブランド参加マニュアルより)

(2) 海外販路開拓

〔線香〕

兵庫県線香協同組合は、「あわじ島の香司」ブランドのもと、海外展示会への出展や現地バイヤーとの商談、国際認証の取得等を通じて海外販路の開拓を推進している。

また海外富裕層向けブランド「Awaji Encens」を展開し、欧州市場を中心に日本の香り文化と地域ブランドの発信強化に取り組んでいる。



【海外富裕者層向けブランド商品】
(「Awaji Encens」HPより)

5 産地の取組事例

(3) 人材育成

〔豊岡かばん〕

職人育成機関であるアルチザン・スクールを設置し、製造技術から商品企画までを体系的に学べる人材育成を実施している。企業見学やインターンシップを通じて地元企業への就職・定着を促進し、産地の技術継承と後継人材の確保、ブランド価値の向上につなげている。



【アルチザンスクール風景】
(アルチザンスクールHPより)

(4) 従来用途からの新たな用途への展開

〔淡路瓦〕

淡路瓦工業組合では、屋根材としての利用に加え、敷き瓦やブリック、塀瓦等の景観材としての活用を推進している。展示会への出展や施工事例の発信を通じて、公園や歩道、公共空間、建築物の外構等への利用拡大を図り、伝統産業の新たな需要創出とブランド価値の向上に取り組んでいる。



【淡路市内カフェ店内の壁材としての活用事例】
(淡路瓦工業組合HPより)

〔マッチ・線香・そろばん〕

煙が少なく環境に配慮した新たな着火剤を目指し、令和6年度からマッチ、線香、そろばんの県内3つの団体が共同開発を行っており、年内の販売を目指している。県の支援も活用しながら、それぞれの製造過程で生じる廃材を活用して、新たな需要の創造に取り組んでいる。



【マッチ型着火剤の試作品】
(日本燐寸工業会HPより)

5 産地の取組事例

(5) 観光との連携

〔清酒〕

灘五郷酒造組合では、灘五郷の酒蔵見学や蔵開き、デジタルスタンプラリー等を通じて、400年以上の歴史を有する日本酒産業の魅力を国内外へ発信に取り組んでいる。参加者の地域内周遊を促し、酒蔵や関連事業者の消費拡大につなげることで、清酒製造業の振興と地域ブランド価値の向上を図っている。

〔播州織〕

播州織産地では、西脇市や多可町の繊維関連事業者が工場を一般公開するオープンファクトリー「もっぺん」を開催。来場者は、糸染めから織布、加工、縫製までの製造現場を見学できるほか、機織り体験やワークショップを通じてものづくりの魅力を体感できる。播州織のブランド価値の発信を図るとともに、観光誘客、次世代の担い手確保につなげる。



ひょうごフィールドパビリオン
認定プログラム



【酒蔵資料館の様子】
(ひょうごフィールドパビリオンHPより)



【播州織製造現場見学の様子】
(ひょうごフィールドパビリオンHPより)

6 民間企業における活用事例

〔プロスポーツとの連携〕

コベルコ神戸スティーラーズでは試合来場者向けノベルティや記念品として、「豊岡鞆」「ひょうごレザー」「播州織」「丹波立杭焼」とのコラボグッズを採用。

地場産業の商品を多くの来場者やファンに直接PRする機会となり、新たな消費需要の創出につながる効果が期待できる。

【地場産業とのコラボグッズ】
(コベルコ神戸スティーラーズHPより)



豊岡鞆 ハンドバッグ



播州織 巾着



丹波立杭焼 お猪口・徳利セット



HYOGO LEATHER 本革キーホルダー

7 議論の方向性

(1) 今後の県施策の方向性(案)

現状の課題	方向性
県内市場における需要・販路の縮小 人口減少や消費行動の変化などを背景に、従来の販路や顧客だけでは十分な売上の確保が困難	地場産品の県内需要拡大 地場産品に対する理解と関心を高め、購入や利用機会の拡大や事業者間のマッチングを促進
担い手不足と技術・技能継承の停滞 職人等の高齢化が進む一方、若手人材の確保・定着が進まず、産地の技術を引き継ぐことが困難	人材・担い手育成の促進 就業希望者と産地のマッチング、幼少期から地場産業に触れる機会の創出等を支援
産品の価値や魅力が十分に伝わっていない 高い技術力や品質、歴史、産地ならではのストーリーが消費者に十分認識されていない	認知度の向上 産地の技術、製品、歴史・文化的価値を国内外に一体的に発信し、県民の理解と認知を高める
関連事業者・設備・原材料の維持が困難 事業者の廃業や工程の担い手不足、設備の老朽化などにより、産地全体の生産が困難になるおそれ	サプライチェーンの維持 産地内の重要な工程や技術の承継、事業者間の連携、設備・生産基盤の維持を支援
産業衰退による地域基盤への影響 地場産業の衰退により、経済の縮小や雇用など周辺の地域基盤を支える機能が低下	所在市町や経済・商工団体の参画 地場産業への支援については、市町による参画や経済・商工など関連団体の協働が重要

7 議論の方向性

(2) 条例内容の方向性について

① 地場産業振興条例（1/2）

項 目	内 容
前 文	○兵庫の地場産業の歴史的・文化的意義、長年培ってきた技術、地域資源の評価 ○雇用、地域コミュニティ、文化継承等の地場産業が果たしてきた役割 ○条例制定の必要を示すための現状認識と課題 ○今後の方向性と条例制定の決意
条例の目的	地場産業の振興の基本となる事項を定めることにより、地場産業の振興に関する施策を総合的に推進し、地域経済の発展、雇用促進、県民生活の向上を図る
用語の定義	地場産業、事業者、関係団体等の用語についての定義
各主体の役割	県、市町、事業者、各種団体、県民の役割
計画の策定	知事は地場産業の振興に関する施策の総合的な推進を図るための計画を、事業者の意見を聴いて策定し、公表することとし、その策定に当たっては議会の議決を経る

7 議論の方向性

(2) 条例内容の方向性について

① 地場産業振興条例（2/2）

項 目	内 容
県による 支援体制の 強化施策	経営相談、人材確保、雇用環境の整備、新商品開発や新販売方式の導入促進、技術開発促進のための産学間・産地間連携の促進、販路拡大、受注機会増大、創業促進、事業継承、災害時の事業継続、財政・金融・税制・技術的な支援・経営指導
市町への 支援	県は市町と協力して施策を推進するため、市町に対する情報提供、助言等を行う
報 告	知事は、毎年度、計画に基づく地場産業の振興に関する施策の実施状況について議会に報告し、その内容を公表する
その他	ひょうご経済・雇用戦略のうち地場産業の振興に関する部分を、本条例の規程により策定された計画とする

7 議論の方向性

(2) 条例内容の方向性について

② 兵庫日本酒乾杯推進条例

項 目	内 容
前 文	○兵庫の良質な酒米と水、優れた醸造技術の評価 ○歴史・文化・祭り・慶事や、農業・観光など地域づくりとの結びつき ○条例制定の必要を示すための現状認識と課題 ○今後の方向性と条例制定の決意
条例の目的	会食等における日本酒をはじめとする兵庫の酒による乾杯を推進する
各主体の役割	県、事業者、県民の役割
運用上の配慮	個人の嗜好及び意思の尊重、飲酒強要の禁止、飲酒知識の普及啓発、アルコール健康被害防止配慮



兵庫県